

祖國與自由!

LA PATRIE ET LA LIBERTÉ

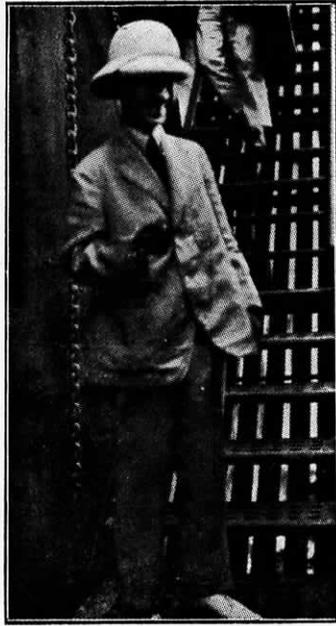
==「大杉 栄」追悼號==

VOL. I, No. 2 特別號

1935

文明批評社

大正十二年七月十一日神戸和田岬沖にて兵庫縣警察部のモオターボートに迎へられ箱根丸のタラツアを降りつゝあるフラス歸りの大杉榮

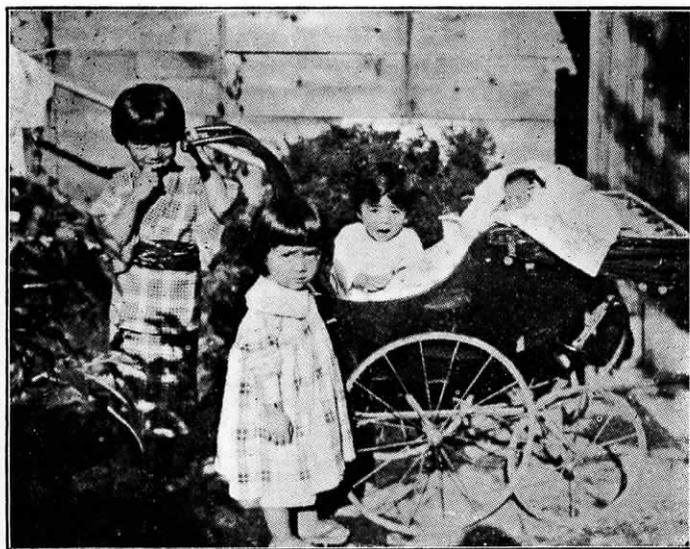


大杉榮の筆蹟

此は、船中の方々へ
 フレームのえき、ストライ
 ぽすつては、進んぶらう。
 たーと急ぐには、及ばさか
 病の、福の、あつ、強多、
 を、く、せ、や、え、ん、こ、ん、た。
 しか、大い、す、こ、と、お、同
 と、か、ま、ん。
 田口 匠 栄



大杉の出迎に神戸港第三突堤に向ふ野枝安子三人



大杉の死後後橋の家の手書きでしるも
（はルトスネ）ルトス子・ズイル・マエ・コマ
（だん死年先）

・大杉榮追悼號・

「杉よ！

眼の男！

更生の靈よ！」

大地は黒く汝のために香る。

— 鐵 —